

令和元年度イノベーション戦略策定事業 成果発表会の開催結果

令和2年11月18日
(一財)機械システム振興協会

社会にインパクトを与えるイノベーション戦略を策定するため、一般財団法人機械システム振興協会では、平成26年度から、外部の関係組織の皆様とともに「イノベーション戦略策定事業」を進めてきました。令和元年度においては、この事業の中で5つのプロジェクトについて、外部の団体とともに事業を実施しました。

これらの事業成果を広く社会に普及させるため、令和2年10月30日に、「令和元年度イノベーション戦略策定事業成果発表会」を、リモート方式にて開催しました。関係団体や一般参加者など47名が参加し、次の5テーマの成果発表を行いました。

①遠赤外線機能による繊維製品の温熱快適性向上に関する戦略策定

協力団体：(一社)遠赤外線協会

発表者：田村照子 殿 (文化学園大学 名誉教授)

②高信頼性のためのセラミックス産業のコネクティッド化に関する戦略策定

協力団体：(一社)日本ファインセラミックス協会

発表者：矢野友三郎 殿 (日本ファインセラミックス協会 専務理事)

③オープンソースソフトウェアの脆弱性情報管理に関する戦略策定

協力団体：(一社)コンピュータソフトウェア協会

発表者：萩原健太 殿 (グローバルセキュリティエキスパート(株)事業戦略室 CSO兼 CSRO)

④シニア就労事業者支援プラットフォームに関する戦略策定

協力団体：(一財)ニューメディア開発協会

発表者：高田伸朗 殿 (NR I 社会情報システム(株) 上級コンサルタント)

⑤産業用X線CTを活用したデジタルエンジニアリングに関する戦略策定

協力団体：(一財)総合研究奨励会

発表者：鈴木宏正 殿 (東京大学大学院 工学系研究科 教授)